

インディアナ日本語学校便り

だいごう
第24号

令和6年10月26日事務所 317-255-1631 メール ijls@indiana-j-school.net

(HP) <http://www.indiana-j-school.net>

校長 森 勝義

「児童生徒の作品」

～第41回運動会特集～

校長 森 勝義

小学部三年一組 テーマ「運動会」

加賀美 徹

ぼくは、運動会で一番楽しかったしゅ目は、玉入れです。なぜかと言うと、いっぱい玉が入ったからです。玉が入った数は全部で八十五こです。そのうち、ぼくは、七こぐらいの玉を入れました。工夫した所は、玉を下から上になげた所です。母から、こう言われました。「下から上になげたら、よく入るよ。」なので、下から上になげたのです。

午前中、赤組が負けてたのに、午後に、ぎゃくてんしたので、うれしかったです。来年、四年生なので、玉入れのしゅ目ができませんが、一年生、二年生、三年生をおうえんしたいです。

さくらい そら

ぼくは、三年れんぞくで運動会で負けてしまいました。八十メートル走は、三いで、玉入れは、五こぐらい入れられました。四年目はがんばり勝りをみごとにゲットしたいです。ぼくは、たまに友だちの家に遊びに行く時に、走っていきます。ぼくは、その練習をつづけていきたいです。だいたい六百メートルぐらいのきよりです。来年は八十メートル走で一いになりたいです。

しみず あおい

わたしは、八十メートル走とトルネードせんぷうと大玉ころがしと玉入れにでました。今としも赤組でした。。去年は負けているので今としはかちたかったです。

八十メートル走が一番たのしかったです。スタートの前にせんせいが「よいピッ」と言うのですが、かちたかったので「ピッ」の前にでそうになりました。スタートしたあとはボルトになった気持ちで一しょうけんめい走りました。ゴールテープがおなかにあたったのを感じました。そのしゅん間一番だとわかりうれしかったです。

ほかのきょうぎもたのしかったです。きょうぎをしていない時間もあついなか、がんばる赤組のみんなを大きな声でおうえんしました。さいしょは白組がリードしてたけどぎゃくてんして赤組がかってうれしかったです。

玉入れ

松村 杜央子

わたしの心に一番のこったのは、玉入れです。なぜかと言うと玉入れでは三年生だけが赤組に勝てたからです。わたしは、少しだけ玉を入れることができました。全体では九十こい上入ったのでわたしもびっくりしました。来年は玉入れがないかわりに、新しいしゅ目があるので楽しみです。

水野 光

九月二十一日土曜日にインディアナ日本語学校の運動会がありました。

その日はとてもあつい日だったけど、天気がよくてうれしかったです。ぼくはアメリカに来て初めての運動会だったので少しドキドキしたけど楽しかったです。

ぼくはいろいろなきょうぎに出ました。一番心にのこったきょうぎは玉入れ合せんです。

ぼくはたくさんの玉をカゴに入れるためにできるだけ多くの玉を手にもってカゴに向けて力いっぱい玉をなげました。そのけっかぼくたちはちからをあわせてかったからうれしかったです。

小学5年2組 「ぼくの運動会」

ウェリング航

9月21日は、インディアナ日本語学校の運動会が行われました。ぼくが参加したプログラムは、全部で4つでした。その中でも、次の2つが一番心に残りました。

1つ目は、100m走です。スタートしたとき、ぼくは少し後ろにいて、負けると思いました。そして、もっと速く走れと、頭の中でさげびました。そうすると気づいたら、ぼくが一番をとりました。うれしかったです。2つ目は、赤白対抗リレーです。バトンをもらって全力で走ったけれど、追いつくことができなかつたのがとても悔しかったです。そして最後に赤組が勝つたという結果を聞いて、また悔やしかったです。

「初めての運動会」

王 茜音

わたしが初めて参加した日本の運動会は、今まで経験した運動会とは違うものでした。例えば、わたしが経験した運動会は、みんな学年関係なく同じ競技をしていました。一番おどろいたことは、おしりでバンバンでした。それは今まで聞いたことがない競技だったからです。初めて先生が教えてくれたときは、おしりをたたきながら走ると思って、少し笑ってしまいました。実際にやったときは、想像していたやり方と全然ちがいました。本当に風船がわれるのかと思いました。一回目は、ちゃんとわれませんでした。でも、二回目でわれました。すごく暑かったけれど、とても楽しい経験でした。

「はじめての運動会」

小澤 玲奈

9月21日に、アメリカで初めての運動会をしました。初めてだったので、なん週間も前から、心臓がばくばくしていました。運動会の前の月曜日から金曜日は、現地校での体育で筋肉痛になり、さらに緊張しました。わたしは、カナダと日本とアメリカの運動会はそれぞれちがうなと思いました。理由は、日本の運動会は1年生から6年生でダンスなどの競技がありました。カナダは、幼稚園から小学6年生まででした。また、リレーはなく、競技も少なかつたです。アメリカは幼稚園から高校生までで、保護者が参加する競技もあつておどろきました。ラジオ体そうやおしりでバンバンなど、色々な競技があつておもしろかつたです。わたしが一番楽しかつた競技は、綱引きとリレーです。綱引きは、みんなのできた競技で、わたしの好きな競技だったからです。リレーは最初はドキドキしたけど、走るのが好きで、走っていたらいつの間にかそのドキドキが消えていました。また、競技の待ち時間やおうえんしながら友達とおしゃべりしたことも楽しかつたです。そのとき友達ができました。徒競走の前などに、5年1組の子とおしゃべりして友達になれてうれしかったです。わたしは、白組が勝つために、精一杯応援しました。「白！白！」と応援したり、「がんばれ！」など、いろいろなかけ声で応援しましたが、最終的に赤組が勝つてすごく悔しかったです。来年はわたしの組が勝つためにもっと応援したいと思います。

小学6年1組 「運動会で心に残ったこと」 岡野 創志
今日は待ちに待った運動会でした。ぼくのいちばん心に残った種目は「おしりでバンバン」です。理由は、走りながら縄跳びができるかな、風船を1回で割れるかな、バスケットボールをドリブルしながら走れるかな、と、思って不安だったから、お父さんとお母さんと一緒に練習しました。公園で練習をしたら上手にできるようになって、気が楽になりました。家で風船を割る練習をしました。割れてぼくはついたらすごい音がして、ショックを受けました。本番の前にみんなで縄跳びの練習をしました。少しドキドキしました。みんなもきんちょうしているのかなと思っていました。いよいよ始まりました。ふえが鳴って、縄跳びを跳びながらスタートしました。ひっかからずに上手に走れました。次に風船のところで高校生のお兄さんが待っていてくれて、一発で風船を割りました。ほっとしました。次はボールをドリブルしました。最初は上手くできたけどボールの方向をまちがえました。風船がたくさん入っている所につっこんでいきました。あわてておいかけてドリブルをしました。ゴールしたらほっとしました。来年は中学生になります。中学生になって、「棒はもらった」という種目が楽しみです。中学生になったら、みんなでいっしょうけんめい応援してもっと楽しい運動会にしたいです。

ラスピナ 陽光
運動会でいちばん心に残ったことは、「おしりでばんばん」でした。僕は「おしりでばんばん」で2番目をとったことはすばらしいとおもいます。僕は、5年生の時は最後だったから、僕は6年生の運動会で2番目をとったことはすばらしいことなのです。僕は「おしりでばんばん」をする前はすごくこわかったけど、始めた時はもうこわくなくなりました。やった時は楽しかったです。僕は来年は100m走で1番になりたいです。僕はまた来年赤チームが勝ってほしいです。

佐藤 翔紀
ぼくは、今年の運動会で2つ心に残ったことがあります。1つ目は100m走です。なぜなら、今回は初めて100m走で1位になったからです。スタートする前みんながおうえんしていて、ぼくはきん張っていました。でも、スタートの笛がなるときん張がなくなり、一番になれるように出来るだけはやく走りました。最初は、2位になると思いましたが、前を見るとだれもいなかったのびびっくりしました。ぼくは、1位になってうれしかったです。2つ目は、今年初めて運動会で勝ったことです。なぜなら、ぼくは幼稚園から今まで4回運動会に出場して、毎年負けたからです。昼休みの時は40点差で負けていたから、あきらめるころでしたが、みんながんばって最後は勝ったのに感動しました。ぼくは、来年「棒はもらった」と「スーパー玉入れ」を楽しみにしています。来年は中学生になってボランティアをするのがめんどくさくなるけれども、友達といっしょに過ごすのを楽しみにしています。

小学6年2組 「楽しかった運動会」 川上 悠里依
私が一番印象に残った競技は、綱引きです。なぜなら綱引きは協力し合う競技で、皆が「せーの。」という掛け声で、引き合い、2回戦とも白が勝ってうれしかったからです。榎尾先生が運動会前に「綱引きで引っ張られているときは、空を見て引っ張ると、力がでて強く引っ張れるよ」と教えてくれました。私は実際に運動会の当日の綱引きで、そのことを思い出してやってみると、本当に強く引っ張れたので、うれしかったです。

その日はとても暑くて、気温が31℃もあって本当に大変でした。だけど他の学年の競技もみんな応援して、白組が勝った時はとてもうれしかったです。

すべての競技が終わって最終結果は、白組は負けて悔しかったけど、競技が楽しめてよ

かったです。来年の運動会は、勝ちたいです。

「小学部最後の運動会」

西田 菜々子

「運動会、楽しかった。」帰りの車で思わず言葉が出ました。9月21日の晴れた日に、日本語学校の運動会が開催された。私は100M そう、綱引き。おしりでバンバンの三つの競技に出場した。

私が最も印象に残った場面は、おしりでバンバンだ。私は競技に出る前は、おしりでふうせんを割らなくちゃいけないのが、はずかしかった。しかし実際やってみると、なわとびで少し失敗したけれど、ふうせんを割るのが気持ちいよかった。最後のドリブルでは、1回も転がらずに成功した。私は1位をねらっていたけれど、3位でくやしかった。

私は100m 走も印象に残った。私はお父さんから、手の振り方や足のけり方を教えてもらっていた。運動会では練習通りにがんばったけれど、1位をとれなくてくやしかった。来年はたくさん練習して、1位を目指してがんばりたい。

小学校最後の運動会は、とても楽しい思い出になった。

◎10月19日

<投稿作品>

小学4年2組	椎名 恵麻	「父と母 そだててくれて ありがとう」
小学5年2組	音琴 日菜	「もりエモン 顔が平らで びっくりよ」
小学6年1組	深川 緒莉	「秋ダケド 風ニモマケズ ゴミダシタ」
小学5年2組	石井 碧芭	「もりえもん えのぐのあとが あるんだが」
小学6年1組	羽田 康生	「朝の月 静かでうすい これもよい」
小学3年2組	金田 萌花	「ともだちの おかあさんの名 かわいいよ」
小学4年2組	後藤 茜	「お父さん ソファーでねないで かせひくよ」
中学5年2組	阿部 陽色	「もりえもん なんてかおが ふたつある」
小学6年1組	町田 柚輝	「山に行こう すばらシイタケ 見つけたぞ」
小学部	担任	「ふと思う 日本の祖父母 元気かな」
小学部	担任	「学校へ 向かう途中の 空に月」
	読み人知らず	「母の頬 朱色に染まる 落ち葉焚き」



ヒゲ森の言葉の森・探検

せつちゆうしようはく

雪中松柏

志や節操が固いこと。厳寒の雪中でも松や柏は緑を保つ。どのような境遇であっても自分の信念を変えないことのとえ。

多くの友を有する者は
一人の友をも得ず。

アリストテレス

紀元前384年〜紀元前322年

古代ギリシャの哲学者

友人が多いことを自慢する人がいるが、真の友情は簡単に育つものではない。表面的な付き合いと友情の違いがわかっていないのだ。